



オーストラリア・モナシュ大学の語学研修 [関連記事7ページ]

国際交流推進室の設置にあたって



国際交流推進室 室長 半田 祐二郎

国際交流推進室が図書館一階に設置されました。大学は学問の府として地域に、そして世界に開かれなくてはなりません。本学においてその事を一層推進する為、2014年4月1日より、上述の部署が半田祐二郎の教授研究室(国際保健学)と合同という形で開設されたのです。教員の研究室と推進室が合体した形で存在する事は日本の大学では珍しい事でありましょう。

さて、この部屋は事務職(Programme Officer)の戸根谷職員との2名体制でスタートしました。私達の業務の中心となるのは、まさにコミュニケーションです。日本語と外国語(特に英語)を用いた外国の大学、病院、研究機関等とのネットワーク作りです。その特性をとらえ、この部署の英語名称はGlobal Networking Office (GNO)と致しました。やや名称が大げさかもしれませんが、北海道医療大学は今後ますます発展し、学生や教員の皆さんが外国に出かけたり、外国の協定を結んだ機関から留学生、教員の方々を本学にお迎えする機会がどんどん増える訳ですから、GNOの名称はそのうちにすぐに皆さんに浸透することでしょう。

すぐ隣の国、ロシア、そして、発展目覚ましい近隣アジア諸国、さらには、魅力とともに、大きな社会問題、健康問題を抱えた世界の開発途上国、また、歴史・伝統とともに、活力の衰えを知らない欧米先進諸国の多くの大学・病院・研究機関等との交流協定を、既に締結されているものについては見守

り、これから締結が期待されるころとはコミュニケーションを活発化するようにいたします。

私たちは、学生諸君に対しては、短期・中期・長期の留学相談、交流協定大学や病院についての情報提供を行います。そしてお迎えする留学生のサポートも全力でさせていただきます。研究者の皆様に対しては、交流協定の有無に関わらず、必要に応じ、将来の共同研究パートナーとのリエゾン・ワークのお手伝いをさせていただきます。そして、学内環境について、その国際化、おそらく手始めは学内環境における日英での2言語表示の推進等についても、高い関心を持ちながら、「内側からの国際化」の手助けも出来ればと存じます。

学生諸君がより一層異文化・多言語に関わるコミュニケーションに関心を持ち、より良く学ぶ事が出来るように、そしてそれらの経験を通じて、より成熟した社会人として世に出るためには、この大学のキャンパスにより味わいの深いアカデミズムが育つ事が最も大切でありましょう。専攻や専門領域に関わらず、国境や言語を超えた刺激は常に必要なものです。GNOは一種の刺激伝導のメカニズムを作り上げる為に設置された小さいが重要な部署であると自任しております。

どうぞ、気軽に、図書館一階大会議室隣の国際交流推進室(Global Networking Office:GNO)にお立ち寄りください。

CONTENTS

国際交流推進室の設置にあたって	1
教員役職者・新任教員・昇任教員紹介	2
ブラジル留学生(薬・齊藤教授) 心理科学部移転 渋谷ダブルツールカフェオープン	3
国家試験結果報告	4
就職試験結果報告	5
2014年度入試結果報告 新入生オリエンテーション	6
オーストラリア・モナシュ大学語学研修レポート - 就職相談会就職相談	7
私の学生時代	8
OG訪問[言語聴覚療法学科]	9
学校法人東日本学園 ○2013年度決算 ○2014年度予算	10
新入生アンケート結果報告	12
EDITOR'S NOTE	